

平成26年度国の予算について特に訴えるべき視点①

産業再生・産業集積の確実な推進

現状・課題

◎拠点整備＝ビジネスチャンスを活かし、産業集積を飛躍的に加速させる必要がある

【背景】

- ・医療機器開発・安全性評価センター…… H27(開所予定)
- ・先端医療機器開発への支援…… H23～
- ・浮体式洋上風力発電実証研究…… H23～H27
- ・産総研福島再生エネ研究開発拠点… H26(開所予定)
- ・会津大学復興支援センター(ICT)… H25～

◎地元で再開しようとする農業者・事業者に対する支援策を講じる必要がある

【背景】

- ・避難指示区域見直しが完了の見通し
- ・住民の帰還に向けた働く場の確保の要請
- ・農業や商工業の復興・再生の要請

提案・要望の視点

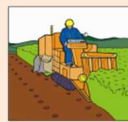
- ①福島発の医療機器開発の速やかな事業化による、医療産業集積の加速 など



- ②再生エネ先駆けの地の実現に向けた、複層的な施策の推進 など



- ③農業者の営農再開に向けた、現地での技術研究の推進 など



- ④事業再開に向けた、施設整備の促進等に必要の支援の推進 など



平成26年度国の予算について特に訴えるべき視点②

生活環境づくりの確実な推進

現 状 ・ 課 題

◎ **“復興公営住宅整備計画”を着実に推進し避難中の生活拠点を確認する必要がある**

【背景】

- ・ 避難中も安心して生活できる環境が急務
- ・ 整備計画を6月に策定⇒概ね3,700戸
- ・ 平成27年度までの入居を目指す

◎ **地域において子どもたちが健全に育つ環境の整備が急務**

【背景】

- ・ 運動不足による子どもの肥満の問題
- ・ 人口流出による地域活力の低下

◎ **復興に向け道路ネットワークの構築が急務**

【背景】

- ・ 浜通りを縦断する交通の分断
- ・ 交通網の分断による生活への重大な変化

提案・要望の視点

⑤ **復興公営住宅整備の着実な推進**

など



⑥ **子どもたちの健全な育成に向けた体験活動や施設整備等の着実な推進**

など



⑦ **帰還住民の生活を支え地域再生を進める道路整備に対する財源措置・直轄権限代行による整備促進**

など

